

持続可能な観光の未来にむかって

～ウィズ・コロナの京都観光から～

平安女学院大学は、京都にある唯一の国際観光学部をもつ大学として、新型コロナウイルスが猛威をふるう昨今、あらためて国際観光都市・京都の持続可能な観光の未来について考えるシンポジウムを実施いたします。

このシンポジウムでは、第一部として京都の観光の実務現場におられる登壇者の方々にそれぞれの立場からコロナ禍の現在、そしてアフターコロナを見据えた取り組みについて語っていただきます。

第二部では、持続可能な京都の観光のために何をすべきか、日本を代表する観光都市・京都の未来への展望についてパネルディスカッションを行います。



京都市観光政策監
糟谷 範子氏



平安女学院大学 客員教授
加藤 千洋氏



公益社団法人京都府観光連盟
専務理事
栗山 晃司氏



旅行ジャーナリスト
村上 英子氏

2020年

11.27 金

17:10～19:00 (17:05開場)

参加費 無料

会場

平安女学院大学 京都キャンパス 室町校舎 M201
(京都市上京区武衛陣町221)

主催

平安女学院大学、
北東アジア研究者ネットワーク研究会

定員

会場 100名
ご希望の方には
後日アーカイブ配信を行います(要申込)

お申込み

特設サイト(右記QRコード)のフォームより、お申込みください。
定員到達後は、アーカイブ配信のみのご案内となります。

<http://www.heian.ac.jp/event/symposium/>



会場聴講時の注意

新型コロナウイルス蔓延防止のため、検温にて健康状態をご確認の上、マスク着用でご参加ください。
会場では、三密を避けた座席配置での着席にご協力をお願いします。